

カプセル内視鏡検査ははじめました

カメラの届かないところ（小腸）を診るカプセル内視鏡

カプセル内視鏡は2007年10月から保険適用が認められた小腸を診るための検査（胃や大腸は対象外）です。

1個のカプセルを飲むことで小腸の内視鏡検査ができます。しかも、検査中は普段の生活ができ内視鏡を飲むつらさがありません。原因不明の消化管出血の原因が明らかになり早期診断・早期治療が可能となります。

消化器科部長 米地 真



カプセル内視鏡知っておきたいQ & A

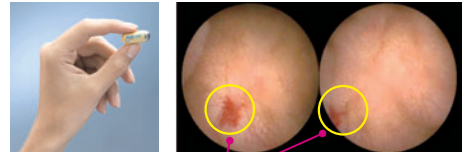


Q1 カプセル内視鏡検査ってどんな検査？

A1 長さ26mm×11mmのビタミン剤のようなカプセルを飲み消化管を通過しながら内部を撮影します。

Q2 カプセル内視鏡検査はどんな人が受けることができるの？

A2 胃や大腸などの内視鏡検査を実施し、原因不明の消化管出血を伴う小腸疾患を診断するために医師が必要と認めた患者さま。



カプセル内視鏡による画像

Q3 カプセル内視鏡検査は、どのように行われるのでしょうか？

A3

【検査前日】

- 消化のよい食事を10時までにとりそれ以降は禁食。
- カプセルを飲む24時間前から禁煙。

【検査の始まり】

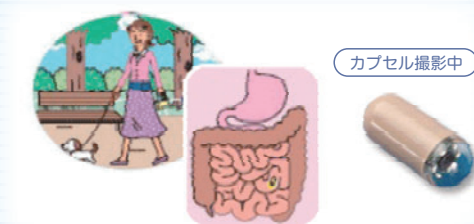
- アンテナを腹部にはり記録装置をベルトで腰につけます。
- カプセル内視鏡を少量の水で飲み込みます。

* 検査が終わるまでは自由に行動できます。
自宅に戻り家事・職場に戻り仕事ができます。

- 2時間後から水分・4時間後から軽い食事ができます。

【検査のおわり】

- およそ8時間後に、病院に戻り記録装置はずします。コンピュータで画像に映し出されます。
- カプセルは排便時体外に排出されますので心配はいりません。



Q4 カプセル内視鏡検査にかかる費用は？

A4 カプセル内視鏡は保険適用です。費用は約3万円程度（保険適用3割負担・カプセル内視鏡検査のみ）です。

Q5 申し込みはどのようにするの？

A5 主治医との相談の上、検査の予約をとります。まずは消化器内科を受診してください。